

■東京タワー水没地↓30m／世の漆黒

他のレビューさんの記事で知って、どハマリした作品です。ジャケットからはおよそ想像出来ないくらいへのヴィナリフの数々、直球過ぎるメロスピなのに、切なさを感じるキャッチーなメロ、特徴あるボーカルと、どれを取っても魅力的な作品です。多少の粗さは感じるものの、そこがまた良いアクセントになっていて、聴けば聴くほどのもり込む。そしてジャケット裏を見て二度びっくり。

■Sweets Garden／ヒメゴト。

もう色んな方が紹介しているし、説明するまでも無いでしょうが、オススメなのでコチラに。中低音が魅力的なボーカルと、キラキラ光るシンセ、ヘヴィなギターリフと、何度聴いても飽きない構成。ほぼ全ての楽曲がキラチューンの、どこを切り取っても美味しい、まさにタイトル通りの甘く激しいメロスピアルバム。身近に感じられる想いの詰まった歌詞もまた良いですね。

■Birth／うちゅうひこうし

ウチのBlogで特設を設けています。MiddleIslandの「FrizzellWeisen」にも参加している、坂本千明さんの1stシングル。儂くも美しいメロディラインと、そそられる曲の雰囲気。心情を露にした等身大の歌詞からも感じ取れる、痛いほどに理解できる悲しいバラードです。もっと聴きたいのにたった1曲なのが残念でならない。アルバムまだですか？

■交差感染／Pajama-Party

某氏がすげえすげえって騒いでいたので聴いてみたら、なんだこれすげえすげえ！ミドルテンポのポップスで、シリアルな歌詞と共にキャッチーなメロ。さらに切なさ漂うボーカル、練りに練られた曲構成や、楽器隊の数々。物凄く完成度の高い作品で、もっともって聴きたいのに、たった一曲なのが口惜しい。こっちもアルバムまだですか？

■少女娼婦／こくまろみるく

昭和の香りがブンブン漂う、他のサークルでは決して見られない、退廃的なメロと妖しい雰囲気がたまらない作品。暗く、妖しく、重く、魅力的に。そしてカオティックに、セクシーに、変態的に。これらの要素が絶妙にギリギリのバランスを保ってガンガン脳髓にきます。表現としてギリギリのラインの歌詞もかなりキテます。捨テ曲が捨て曲じゃないのもミソ。

■LOST CHILDLEN／LOST CHILDLEN

コンピ枠からはこちら。埼玉最終兵器と交流のある方々が、本人に内緒で(!?)集まって作られた作品。恐らく二度は無いであろう豪華すぎるメンバーと共に、メタルだけではない、テクノなどの数々の良アレンジに脱帽。埼玉最終兵器の素晴らしさを再認識する事ができる一枚。ここでしか聴く事の出来ない夢のユニットもあったり。やはり埼玉最終兵器は最強ってコトですね！！

マブ／Speeed!!

サイトURL：<http://muv.blog72.fc2.com/>

ども。初めての方もそうでない方もこんにちは。Speeed!!のマブです。おっさんです。どうぞよしなに。

Blogの方はサボってばかりですが、とうとう二度目の10選を書くことになりました。前は「らしくない」との意見を頂いたので、今回は普通に書くように心がけましたが如何でしょうか？大分違うと思うのですが…。二度目なのでかなり悩みましたが、こんな感じで落ち着きました。良く聴いているタイトルや純粋にオススメしたいタイトルですね。有名どこやメタル寄り、新しめのタイトルが多いのは仕様なのであしからず。

■弦奏超技巧／MiddleIsland

タイトルからも分かるとおり、超テクニカルなインストアルバム。これぞ「中島岬」と言わんばかりの、彼の持ち味そのものを感じ取ることが出来る、激しく・黒く・深い、まさに悲哀そのものをメロディに乗せた、楽曲の数々。特にtr-2「アロード」は感涙もの。その美しさと叫びに、ただただ号泣するばかり。ピアノ・ストリングス好きならば是非。中島さん抱いて！！（最大の誉め言葉）

■eXceed 3rd-JADE PENETRATE-BLACK PACKAGE ORIGINAL SOUND TRACK／埼玉最終兵器・天然素材

現時点での埼玉最終兵器の最新音源がこちら。今までの作品よりもグッと音質が良くなっていると共に、埼玉最終兵器らしいメロや構成、洗練されたリフワークは必聴もの。終始激しい楽曲ばかりなのに、ちっとも飽きない内容。STGのBGM集でありながらも、コレ単体でも十分に楽しめるのは流石としか言えないです。どこを聴いても埼玉最終兵器とすぐに分かるのも流石です。

■Dystopia／Valhalla

既に活動休止を発表しているのが非常に惜しい、最初で最期のアルバム。ヘヴィで激しいギターリフと絡み合う、透明感溢れる高音のハーモニーが美しいボーカル、特にバラードはまさに絶品。これぞゴシックHRの王道と言わんばかりの出来です。多少の音質の悪さは感じられるものの、それを補っても有り余る内容です。切に活動再開を願います。

■豪快ハートキャッチ／不気味社

これは正直やられました。男性のみのアカペラでプリ〇ユアとは恐れ入りました。まさに漢のプ〇キュア。熱く力強く濃厚に、時折繊細に優しく、なのに真面目にハートキャッチ！ただそれだけなのに、何度も聴き返してしまう魅力があります。これが同人音楽ってヤツだろう？と再認識しました。ネタだろうがアレンジだろうが、良いモノは良い！ってコトですね。主にオマケが本編。